

平成 21 年度 活動 報告

1. 平成 21 年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等、CO₂排出権取引等の温暖化防止メカニズムの研究および普及促進等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その 1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与

その 2 CO₂排出権取引をはじめ、あたらしいメカニズム・システムの開発・普及

その 3 市民、企業等の緑化推進・循環型社会構築等に関わる社会貢献活動の普及・促進

2. 平成 21 年度の事業実績概要

今期は、設立から 7 年目を迎え、昨年度に引き続き指定管理者プロジェクトにおいて施設の指定管理者を行うとともに、エコドライブプロジェクトやながのエコシティプロジェクトなども実施して、さらに事業の幅を広げることができた。関係機関等外部協力者の連携をはじめ、事業や普及啓発活動において、臨機に対応を検討しながら、成果を残すことができた。

昨年に引き続き指定管理者として運営しているリサイクルプラザに 6 名の常勤スタッフを配置したほか、事務局アシスタントに 2 名の計 8 名の有給雇用職員（パート勤務含む）の体制とした。

(参考 1 会員現況 平成 22 年 6 月 5 日現在)

1. 正会員（個人会員）	21 名
2. 正会員（法人会員）	12 社
3. 一般会員	2 名
4. 賛助会員	0 名
5. アドバイザー会員	10 名

合計 45 名（法人会員代表を含めて 69 名）

※正会員（個人会員） 1 名増、 1 名減、正会員（法人会員） 2 団体増、 2 団体減

(参考 2 法人会員について)

- ①法人会員については、その法人に属する 5 名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は 1 法人あたり、申し込み時に登録した代表者の 1 票とします。
- ③当 NPO 法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員名を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

今年度は、(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業、(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営、(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣、(6) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(7) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業の7事業を行った。

それぞれの内容について、事業ごとに整理する。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

ながの環境フェア 2009 や信州環境フェア 2009 などのイベントに、雨水循環利用、自然エネルギー利用、県産材を利用した家づくりなどの展示物を出展して、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2009/8/22 ～8/23	信州環境フェア2009	ビックハット (長野市若里多目的 スポーツアリーナ)	展示ブース来場者 204名
2009/9/13	ながの環境フェア2009	長野市清掃センター	指定管理者 プロジェクトにて (全参加者 5,500名)

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

○県産材利用プロジェクト

地域産の木材の活用を普及させるため、『信州環境フェア 2009』、『ながの環境フェア 2009』に展示ブースを出展し、様々な視点から作られたパネルの展示とパンフレットの配布を行った。

- 『省エネ住宅スタイル』: 省エネ住宅の提案から地域産木材を使いながらコストをおさえる工夫の提案。
- 『信州ログスタイル』: 内容・地域産木材を使ったログハウスの提案。
- 『小さな住まいのすすめ』: 内容・高齢化に対応したリフォームと同金額で建設可能な小さな地域産木材を使った生活空間の提案。
- 『古民家木材でつくる家づくり』: 内容・古民家木材の利用促進や古材利用の注意事項等。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2009/8/22 ～8/23	信州環境フェア2009	ビックハット (長野市若里多目的 スポーツアリーナ)	展示ブース 来場者 204名
2009/9/13	ながの環境フェア2009	長野市清掃センター	展示ブース 来場者 5,500名

○エコドライブプロジェクト

車の保有台数が多い長野県における運輸部門のCO₂削減を目指し、エコカーの活動をきっかけに、「環境」と「技術」の両分野に係わる技術者の育成を、地域が支えながら実践していきこうと、『エコマラソン 2009 長野』を開催した。今年度が第3回となる長野大会では、エムウェーブを会場として全国大会の燃費競技に準拠した燃費計測会を行ったところ、1029.858 km/lという大記録が生まれた。また、他の協力団体の参加により、エコカー体験、ソーラークッカーやペレットグリルの展示など、楽しみながらできる環境に関する普及啓発活動を行い、大勢の参加があった。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2009/9/12 ～9/13	エコマラソン 2009 長野	エムウェーブ	参加者 480名

○E S D（持続可能な開発のための教育）・環境教育プロジェクト

国立長野高専等と協働で行う事業であり、身近な里山の手入れなどの環境学習を行った。これらの活動を通じて、参加者が長野の森林を身近に感じ、そして後世に継承する大切な資源であることを実感するとともに、森林保全に向けた普及啓発を行った。本事業に関する講師派遣については、「(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営」、(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣」の項目でまとめている。

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業 ○N P O活動促進プロジェクト

地域や自然環境の保全などに取り組むN P O活動を支援するための助成制度に3件応募し、2件が採択された。2件は平成21年度事業として実施した。各事業の実施内容については、各事業の該当する項目で説明する。

①トヨタ財団 2008年度地域社会プログラム

申請先：財団法人トヨタ財団

テーマ：「環境・モノ」づくり長野ー地域で支える世界に羽ばたく次世代を育てよう！ー

内 容：長野市には、「エコカーづくり」による環境と地域を担う次世代の育成活動に取り組む学校がある。県立長野工業高校、国立長野高専や社会人などのチームもエコカーづくりの活動を行っており、これまでもエコカーづくりをしている学校の教員で「エコマラソン実行委員会」を組織し、エコカーの燃費計測会や交流会を開催してきた。こうした取り組みは、市民や地域、行政が連携・協働によって支援していくことにより、地域における次世代の育成や環境保全の意識啓発を進展させ、継続させていくことができるものと考えられる。

1 昨年、長野市では、市民、市民団体、行政等が協働して市民事業を行う「ながのエコシティプロジェクト推進協議会」が設立され、太陽光市民発電所や森のエネルギー活用といった環境保全活動の普及啓発事業を行ってきた。

本プロジェクトでは、この組織による活動を広げ、地域を担う次世代の育成と環境保全活動を、地域社会で支え広げるための仕組みづくりを行う。

申請は、協議会事務局として当N P Oが応募し、採択となった。

助成額：4,000,000円（2ヵ年：初年度2,000千円、次年度2,000千円）

実施日：平成21年4月1日～平成23年3月31日

③平成21年度 長野市芸術文化振興事業

申請先：長野市芸術文化振興基金運営委員会

テーマ：「廃材アート2010」

内 容：身近な不用品をアート作品にすることで、新たな価値を生み出すとともに、不用品に対する視点の変換を試みる。新しい目線でゴミの減量化や環境について広く普及・啓発活動を実施する。今年度から実行委員会形式の運営（補助対象事業）とし、リサイクルプラザの自主事業と連携しながら開催することとした。申請者は実行委員会とし、本N P Oが事務局として応募し、採択となった。

助成額：80,000円

実施期間：平成21年12月1日～平成22年3月16日

(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営

①「地域循環型のバイオマス燃料で地球温暖化に取り組もう」プロジェクト

■薪をつくろう！森をつくろう！

健全な森を育てるには間伐したり外来種を駆除する必要がある。さらに伐採した樹木を燃料にすることで、地球温暖化防止につながる木質バイオマス利用になる。このプロジェクトは薪ストーブユーザーが間伐などで森を育てながら薪をつくることで地域に根ざした再生可能エネルギー資源循環を実現するとりくみを促進した。今年イベントでは、延べ160人の市民・市民団体等の参加者により、樹高20mを超えるような大きなニセアカシアを57本も伐採し、これらを木質バイオマスエネルギー（薪）にし、活用することができた。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2009/10/24	「薪をつくろう！森をつくろう」イベント	長野市茶臼山公園	参加者 30名
2009/11/14	「薪をつくろう！森をつくろう」イベント	長野市茶臼山公園	参加者 103名
2008/11/28	「薪をつくろう！森をつくろう」イベント	長野市茶臼山公園	参加者 27名

②ながのウェルカムガーデン

長野駅前およびJR長野駅コンコースにおいて、平成21年4月4日から6月8日までの間、コンテナガーデンによる都市緑化の普及啓発イベントの企画に参加した。会期は善光寺御開帳およびAS PAC（長野青年会議所）会期であり、多くの市民、来訪者に対して、花と緑でお出迎えするイメージアップとともに都市緑化の普及啓発と都市緑化資機材のモデル展示を行うこととした。事務局は日本造園修景協会長野県支部。

■リサイクルガーデン

リサイクルプラザの事業の一環として、廃プラスチック利用のプランターや合成木材、プラザで作った生ゴミ堆肥などを用い、資源の有効利用と廃棄物減量化をアピールするためのガーデンを設置した。

その後、リサイクルガーデンは、リサイクルプラザ正面横に移設され、常設の花壇として利用している。

(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

長野市、長野青年会議所等で開催された事業イベントや環境学習の講師を派遣し、活動支援を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2009/2/18	長野市環境審議会	長野市役所	特別委員 1 名
2009/3/11	J C 環境セミナー講演 (主催：長野青年会議所)	長野市生涯学習センター	講師 1 名
2009/7/25	里山の自然体験プログラム (主催：NPO 法人しなの青少年交流学校)	市内小田切地区	講師 2 名
2009/8/7	トヨタ財団助成対象者ワークショップ	JAL シティ長野	発表者 2 名
2009/8/28 ほか 4 回	長野市バイオマスタウン構想策定検討委員会	長野市役所	副委員長 1 名
2009/8/28 ほか 4 回	長野市バイオマスボイラー導入診断策定委員会	長野市役所	副委員長 1 名
2009/10/29	みんなで考えよう協働のイロハ (主催：長野青年会議所)	県民文化会館	講師 1 名

(6) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

① 雨水循環利用プロジェクト

昨年度に引き続き、雨水循環利用の普及啓発活動を実施した。今年度は、雨水利用装置を長野市内に 1 セット販売・設置を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2009 年度	雨水タンクの設置	長野市内 1 箇所	

② 森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及による森と街を資源循環でつなぐことを目指し、普及啓発活動を行った。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2009 年度	ペレットストーブ設置	長野市内 1 箇所	
2009 年度	ペレット販売	事務局	1,250 袋

③ ながのエコシティプロジェクト

1 昨年からの繰り越しとなった「ながのエコシティプロジェクト」は、長野市環境部と連携しながら企画し、環境省の平成 19 年度「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の地域として全国 7 地域のひとつとして選定された。本事業は、当団体が事務局となり、市民団体・環境団体・長野市役所等で構成されるまちづくり協議会『ながのエコシティプロジェクト推進協議会』によって推進している（3 年間）。

この事業により太陽光発電やペレットストーブ・薪ストーブの導入に対して支給される交付金を活用し、地球温暖化防止の情報発信のシンボルとして市内への導入を促進した。

(7) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、施設の指定管理者として、公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働で維持・管理・運営を行った。

①長野市リサイクルプラザ

リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などのごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、リサイクル広場での不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）に活動の場を提供している。

活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2009/4/1 ～2010/3/31	施設利用者	長野市リサイクルプラザ	利用者総数 25,095名
2009/4/1 ～2010/3/27	ボランティア団体利用 (リサイクル連絡会 13グループ)	長野市リサイクルプラザ	利用者 1,019名
2009/4/6 ～2010/3/25	ゆめ工房 2 1 体験講座 (6グループで 48回開催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 644名
2009/6 2010/2	着物のリフォーム教室 (4週連続の日曜日)	長野市リサイクルプラザ	参加者 112名
2009/5, 7, 9, 11 2010/1, 3	リサイクル広場 (奇数月に 6回開催)	長野市リサイクルプラザ	利用者 3,383名
2009/4/11 ～2010/3/27	自主事業 29回開催 (出前講座 6回、展示・アート展 2回)	長野市リサイクルプラザ	参加者 3,187名
2010/2/14 ～2010/2/28	『廃材アート 2010』 廃材を利用したごみ減量化(環境)への メッセージ	長野市リサイクルプラザ	参加者延べ 612名
2009/5, 6, 9, 10	フリーマーケット 4回開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 6,000名
2009/9/13	ながの環境フェア 2009 開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 5,500名

『廃材アート 2010』 廃材を利用したごみ減量化(環境)へのメッセージ

使われなくなったものや、日頃捨ててしまうものなどに対するリサイクルの普及・促進として、身近な廃材に、新たに命を吹き込みながら、環境について改めて考えるひとつのきっかけとなることを目的として「廃材アート 2010」を廃材アート実行委員会と共同で開催した。2月14日から28日まで出展者 31名、出展作品 62点で開催し、延べ 612名の見学者となった。

特に、2月21日(日)には廃材アートができるワークショップ(パッケージクラフト、切絵、ユニバーサルハーモニー、メッセージキルト)を開催し 160名の参加があった。

長野市リサイクルプラザでの開催のほか、長野市役所に会場を移動しての展示としたが、不用品を使っただけの作品が新鮮であり、反響が多く好評であった。

これに関連したイベントとして、山寺常山邸(長野市松代町)において、前田順子作品展を開催し、市民のみならず遠方からの来場者もあって注目されるイベントとなった。